

令和3年第8回玉野市教育委員会 会議録

I 期 日： 令和3年5月25日（火） 於：第1委員会室

II 開会時間： 14時00分

閉会時間： 15時50分

III 出席委員： 教育長 妹尾 均 教育長職務代理者 加藤 正枝
委員 妹尾 恵美 委員 太宰 実千代
委員 三宅 英次

IV 欠席委員：

V 出席者氏名： 教育次長 藤原 敬一 教育総務課長 山内 祐樹
学校教育課長 的場 佳代 就学前教育課長 渡邊 まり子
社会教育課長 大塚 英一 玉野商工高校事務長 道上 早苗
(書記) 清山 智保

VI 会議内容：

1. 開 会

2. 前回会議録の承認

(1) 令和3年第7回教育委員会会議（R3.5.11）の議決事項等について

教育長報告：なし

議 事：なし

協 議：令和3年度教育委員懇談会実施計画（案）について ほか1件

そ の 他：玉野市未来の学校づくりプロジェクトチームの設置について ほか
2件

(承認)

3. 教育長の報告

(1) 玉野市スポーツ振興財団基本財産毀損問題に係る最終報告について

(妹尾教育長) 5月臨時議会の中で、玉野市スポーツ振興財団基本財産毀損問題について最終報告を行った。詳細は、報告書を確認いただきたい。今後は債権の回収に努める。

4. 議 事

(1) 玉野市奨学生選考委員の委嘱について

(社会教育課長) 資料により説明

(2) 玉野市立玉野商工高等学校学習用端末等の貸与等に関する要綱の制定について

(玉野商工高校事務長) 資料により説明

(妹尾委員) 小・中学校の貸与の要綱は、早い時期に制定していたが、今の時期となったのは、なぜか。

(玉野商工高校事務長) 1月頃、高校も小・中学校と同様、1人1台学習用端末の整備に国の補助金を活用することが国で検討されており、その結論を待っていたことや、県立高校がどういう対応をするのかを検討材料入れるため、時期が遅くなった。申し訳ない。

(加藤委員) 自分で端末を準備ができる家庭は自分で端末を準備するということか。

(玉野商工高校事務長) 商工高校では、県立高校に準じて、学習用端末は個人購入で準備するという事になっている。また、県立高校と同様に、経済的に購入が困難な家庭には貸出することとしている。

(加藤委員) 入学の時に必要な物品の一つとしてあげているということか。

(玉野商工高校事務長) そのとおりである。

(太宰委員) 対象者はどのくらいいるか。

(玉野商工高校事務長) 今年度の1年生から貸出することになっているが、希望者は10名程度である。

(加藤委員) 端末はタブレットタイプか。

(玉野商工高校事務長) 小・中学校と同じクロムブックである。

(3) 令和4年度使用玉野市立高等学校の教科用図書採択について

非公開事項のため会議録を公表しない

(原案どおり可決)

5. 協 議

(1) 令和3年度玉野市教育行政重点施策(第2稿)について

- (教育総務課長) 資料により説明
- (太宰委員) (P6・P8)園庭解放を削除しているが、今年度はコロナ禍で実施できないかもしれないが、事業としては残して、但し書きで今年度の状況を記載したほうがよいと思った。
「子育て支援情報提供事業の充実」の部分は、「～の～の」と「の」が重なっているなので、文章を検討してもらいたい。
- (三宅委員) (P1) 5段落目の文章を考えてみた。「そのために、教職員の専門職としての資質能力を高めるとともに、教育活動に専念できる環境整備に努めます。また、新たに取り組む外国語教育や道徳教育、特別支援教育など全ての学習活動の一層の充実に努めます。GIGAスクール構想の実現によるICTの活用により、主体的・対話的で深い学びを目指す授業改善に取り組みます。」このような表現はどうか。検討いただきたい。
(P24) 「学校経営アクションプラン作成と実践」の内容は、一文が長くわかりにくいので、途中で区切ったほうがよい。
(P35) 市史編さんについての項目を追加してもらっているが、今年度は体制づくりの着手のみか。
- (社会教育課長) どのような構成で編さんするかを考えていく上で、まずは編さん委員を任命して、初回の会議を開催できたらよいと考えている。そこで編集方針を検討していき、翌年度以降、編さん作業に取り組む予定である。
- (加藤委員) (P1) 「子育てに関する学習の機会を提供する」、「地域の教育力」という部分は、一般的にはよくわからないのではないかと。
(P19) 「障害」の「がい」はひらがな表記にしてはどうか。
(P16) 「(2) 指導内容の工夫・改善」の部分を再検討いただきたい。理数教育等が大切なのはよくわかるが、国語力のほうがもっと大切ではないか。玉野に住んでいるならば、自然との関わりやそこから学ぶ文化や理解が大切と考える。理数教育やプログラミング教育が一番前に記述されるのではなく、前年までの文章のように「環境教育、情報教育、国際理解教育」のほうがよかった。
- (太宰委員) 前回もう一度検討すると言ったが、このままということは、これが検討した結果か。スチューデントガイドプログラムの記述の中でも国際理解についてあり、それとの整合性を考えても、国際理解教育を削る必要はないと考える。
- (学校教育課長) 課内で検討した結果このような文章とした。新学習指導要領の

中で、国が柱の一つとして理数教育を挙げている。なぜ、国が理数教育を柱としているかということ、次世代を担う科学技術の人材の育成ということで、日本の子どもたちは理数教科の水準は高いが、国際的に見ると関心面はまだ低いため、少しでも好きになってもらいたいという思いからである。プログラミング教育については、言葉自体が非常に意味がわかりにくい、論理的に考えていく力を身に着ける、プログラミング的思考に関する教育である。伝統や文化に関する教育については、今後、国際社会で活躍をする日本人の育成を図るということで、まずは郷土の伝統や文化や良さを理解し、発展させていく教育の充実が必要とであるため加えているものである。昨年度までの文章は、改訂前の学習指導要領でポイントとなる項目であった。今年度は新学習指導要領に沿って、国が力を入れている項目をまずは挙げていこうという趣旨である。昨年度まで掲げていたものについても、どれも大切な教育ではあるが、この項目が、「時代の進展に対応した…」ということで柱となる項目を挙げている。玉野市として必要な教育もきちんと進めていく。

(妹尾教育長)

落とせない言葉というのはある。国の示している項目は残すべきである。しかし加藤委員の言うことも理解できる。例えば、文頭に、環境教育などをいくつか羅列して、「～等を大切にしながら」という言葉を前に加え、「理数教育、プログラミング教育…」と続けるといいのではないか。

(三宅委員)

今までやってきたことは継続して実施し、新しい時代の進展に対応した教育にも力を入れる、ということがわかる内容にすればよいと考える。1 ページ目の基本方針についても、道徳教育と特別支援教育しか記載がないため、全ての学習活動に力を入れていることがわかる内容にして欲しい。

(2) 銚立認定こども園とサンマリン認定こども園の統廃合について

非公開事項のため会議録を公表しない

6. その他

(1) 令和3年度教育委員による学校等視察の実施について

(教育総務課長) 資料により説明

(2) 令和3年度教育委員懇談会実施計画(案)について

(教育総務課長) 資料により説明

(3) 令和3年度6月補正予算（教育委員会関係分）について

非公開事項のため会議録を公表しない

(4) 令和3年6月／7月 月間行事予定について

(教育総務課長) 資料により説明

次回、教育委員会定例会は令和3年6月29日（火）14：00から開催するので
参集願います。以上で、第8回教育委員会を閉会します。

会議録調製者	書記	清山 智保
会議録署名委員	教育長	妹尾 均
〃	教育長職務代理者	加藤 正枝